(傍線部分は修正部分)

	只川
	夏の女E見定、寛四十二条の女E見定並びこ寛二十四条の女E定、第三十五条の次に二条を加える改正規定、第四十五条第一
	を加える改正規定、第十八条の改正規定、第二十一条の改正規
	三条を加える改正規定、第十七条の改正規定、同条の次に一条
	第六条第一項の改正規定、第十五条の改正規定及び同条の次に
三 第二十一条の改正規定 令和四年四月一日	二 第三条の改正規定、第四条の改正規定、第五条の改正規定、
一田	
正規定並びに次条から附則第四条までの規定 令和二年十二月	
一項第二号の改正規定並びに第七十五条(見出しを含む。)の改	
七条、第四十二条、第五十五条、第五十六条及び第五十九条第	
の改正規定、第二十一条の次に三条を加える改正規定、第三十	
二 第十条の次に一条を加える改正規定、第十一条第一項第二号	〔削る。〕
一 [略]	一 [略]
の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。	の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。
第一条 この法律は、令和三年四月一日から施行する。ただし、次	第一条 この法律は、令和三年四月一日から施行する。ただし、次
(施行期日)	(施行期日)
附則	附則
修正前	修正後
(停総音分に修訂音分)	

品 種 登録 管理人の品 種 登 録出 |願手続等に関する経過措置|

第二条 第五 ては、 は、 及び居所 則第四条及び第五条において 以後に新法第五条第 十条の二の規定は、 に 五条第 おいて なお従 条第 この法律による改正前の種苗法 この法律による改正 項 「在外者」という。) (法人にあっては、 項の規定による品 の規定による品種登録の出願をする日本国内に住所 この法律 項(前条第二号に掲げる規定の施行の日 後の種苗法 の施行の日 営業所) 種登録の出願をした在外者につい 「第二号施行日」という。)前にあ について適用し、 を有しない者 (以 下 (以 下 (以下「施行目」という。) 「旧法」という。) 「新法」という。) 施行日 (以下この条 前に旧法 **(**) 第 第 0

出 等の行為に係る制限 0 届 出等に関する経過措置

前

0

例による。

第三条 り、 とができる。 品 種 か かわらず、 登 種 同項(第 登 録 録を受けている者は、 0 この法律の施行 出願をしている者及び旧法第十八条第一項の規定による 一号に係る部分に限る。)の規定による届出をするこ 施行日から起算して六月を経過する日までの間に限 の際現に旧法第五条第一項の規定による品 新法第二十一条の二第 項の が規定に

> 種登録管理 人の 品種登録出願手続等に関する経過措置

(品

第二条 出願をした在外者については、 法 について適用し、 営業所) 種登録の出願をする日本国内に住所及び居所 第二号施行日」という。) 十条の二の規定は、 . (以下 この法律による改正後の種苗法 を有しない者 「旧法」という。)第五条第 第二号施行日前にこの 前条第二号に掲げる規定の施行の日 (以下この条におい 以後に新法第五条第 なお従前の例による。 項の 以下 法律による改正 規定による品 て 「新法」という。) 「在外者」という。) (法人にあっては、 項の規定による品 種 前 (以下「 登 種苗 録 第

(輸出等の行為に係る制限の届出等に関する経過措置

第三条 条第 第一 \mathcal{O} 月を経過する日までの 条の二第一 規定による届出をすることができる。 項の規定による品種登録の出願をしている者及び旧 附則 項の規定による品種登録を受けている者は、 項の規定にかかわらず、 第一条第二号に掲げる規定の施行の際現に 間に限り、同項(第 第二号施行目から起算して六 号に係る部分に限る。 新法第二十一 旧 法第十八 法 第五条

2

該公示と併 三項におい 係る変更後の 係る事項 十三条第 を公示するとともに、」 十一条の二 十八条第一 項第 項又は」 号から 三項の規定による公示前にされた場合における新法第二 (前項の規定による届出があった場合には、 項第 て同じ。) 第三 せて同条第二項第一号」とする とあるのは 事項。 項 第四号までに掲げる事項及び当該届出に係る事 一号から第四号までに掲げる事項及び当該届出 の規定の適用については、 又は第十八条第二項第一号」とあるの 以下この項及び次項並びに第二十一条の と、 「直ちに、 「これらの公示と併せて、 当該出願品種に係る第十三条第 同項中 「第十三条第 当 それぞれ第 該 届 は 出 兀 当 第 12 に 項

る事項 に、 項におい 三条第一 中 る変更後 項の規定による公示の際、 用については、 た場合に 当該 公示 項の (前項 項 登 て同じ。)又は第十八条第二項第一号」とあるのは 0 おける新法第二十一 (第十八条第三項の規定による公示と併せてされたもの 第 録品種に係る第十八条第二項第一号」と、 届 事 項。 0 出が旧法第十八条第三項の規定による公示後にされ 規定による届出があった場合には、 号から第四号までに掲げる事項及び当該届 同条第三項中 以下この項及び これらの公示と併せて、 条の二第三項及び第四 「第十三条第一 次項並びに第二十一条の 項又は第十八条第三 それぞれ第十 当該届出に係 項の規定 同条第四 出に係 兀 直 第三 0 ち 項 適

3

三項に 該公示と併せて同条第二項第一号」とする。 係る変更後の事項。 係る事項 十三条第一項第一号から第四号までに掲げる事項及び当該届 を公示するとともに、」と、 **十** 十八条第三項の規定による公示前にされた場合における新法第二 項 項又は」 前項の届出 条の二第三項の規定の適用については、 、第一号から第四号までに掲げる事 おいて同じ。) 前 とあるの 項の規定による届出があった場合には、 が 種苗法第十三条第 は 以下この 又は第十八条第二項第 直ちに、 「これらの公示と併せて、 項及び次項並びに第二十 当該 項 項 出 0 及び 願 規定による公示後 品種に係る第十三条第 一号」とあ 同項中 当 一該届出に係る事 「第十三条第 当該 それぞ るの 条の は 届 新 四第 法第 出 出 れ 当 項

3 る事 中 に、 項におい る変更後の事 三条第一項第一号から第四号までに掲げる事項及び当該届 項の規定による公示の際、 用については、 た場合に 第一 「公示 当該 項 項の届出が新法第十八条第三項の規定による公示後にされ 前 て同じ。) 登録品種に係る第十八条第二項第一 おける新法第二十一 (第十八条第三項の規定による公示と併せてされたもの 項の規定による届出があった場合には、 項。 同条第三項中 以下この 又は第十八条第二項第 項及び これらの公示と併せて、 条の二 「第十三条第 次項 一第三項 並 び 一号」とあるの に第一 及び第四 号 項又は第十八条第三 - と、 当該届 それぞれ第十 項 同 条の四 の規 条第四 は 出に係 出 定 直 に係 0 適

に限る。)」とあるのは「公示」とする。

(新法第二十一条の二第一項及び第七項の規定の適用に関する経

過措置)

四項ただし書」と、同条第七項中「前条第二項本文」とあるのは「第一号イ及びロ中「前条第二項ただし書」とあるのは「前条第一十一条の二第一項及び第七項の規定の適用については、同条第一第四条 施行日から第二号施行日の前日までの間における新法第二 第

(出願料、手数料及び登録料に関する経過措置)

前条第四項本文」とする。

第五条 による品種登録の について適用し、 項の規定による品 十五条第 新法第六条第一 項の規定は、 出 第二号施行日前にした旧法第五条第一項の規定 種登録の出願に係る出願料、 願に係る出願料及び登録料については、 項、 第二号施行日以後にする新法第五条第 第十五条の三、第十五条の四及び第四 手数料及び登録料 なお

従前

0)

例による。

に限る。)」とあるのは「公示」とする。

(新法第二十一条の二第一項及び第七項の規定の適用に関する経

過措置)

第四条 項中 二項ただし書」 日の前日までの間における新法第二十一条の二第一 0) 規定の適用については、 「前条第二項本文」とあるのは 第二号施行日から附則第 とあるの は 同条第一項第一号イ及びロ中 「前条第四項ただし書」 条第三号に掲げる規定の施 「前条第四項本文」とする。 と 項及び第七項 同条第七 「前条第 行の

(出願料、手数料及び登録料に関する経過措置)

第五条 び た旧法第五条第一項の規定による品種登録の 十五条第一 に係る出願料、 いう。)以後にする新法第五条第一 登録料については、 新法第六条第一 項の規定は、 手数料及び登録料について適用し 項、 なお従前 この法律の施行の日 第十五条の三、 の例による。 項の規定による品 第十五条の四及び第四 出願に係る出願料及 (以 下 種登録 施行日前にし 施行 月 0 治出願